

明日を担にう人なづくり

本市では、第8次鳥取市総合計画において「地域社会の一員としての自覚と誇りを持ち、自己実現に向け、たくましく自立して豊かに生きる人づくり」を目標に、教育改革に取り組んでいます。

鳥取市の教育のめざす方向

地域の実態を踏まえた特色ある学校づくりを進め、児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、自ら学び、考える力と地域に誇りと愛着を持ち、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成をめざします。

目標実現のための3本柱を「活力ある人材を育てるための教育の充実」「充実した教育を支える環境の整備」「家庭・地域の教育力の向上」とし、各種事業に取り組み、来年度の鳥取市の教育構想の策定に向けて検討を行います。

教育改革によりめざす効果

学力や体力の向上、心の教育・道徳教育の充実により、基礎的な学力が身につく心身ともに元気でたくましい児童・生徒の育成を図ります。

さらに、学校・家庭・地域が一体となって、それぞれに適切な役割を果たしながら「人づくり」に協働する教育コミュニティの形成に取り組み、地域全体の教育力を高めていきます。また、施設の整備充実や体制の強化により、安心・安全な学校運営を行っていきます。

事業の中から
主なものを紹介します

学校2学期制

「授業時間数および先生が子どもに関わる時間の確保」や「特色ある学校づくり」を推進するための新たな制度として、平成17年4月からすべての小・中学校で「学校2学期制」を導入しています。

平成17年度末の学校対象アンケート結果では、「3学期制のときより児童や生徒と関わる時間を持ちやすい」「授業時間の確保に有効である」「長期休業前まで落ち着いて授業ができた」という問いに対して、「そう思う」「どちらか」というと「そう思う」という肯定的回答率が、小・中学校とも90%を超える結果となり、2学期制が教育現場にとっていかに有意義なものかということがわかります。

また、「2学期制を生かしてどのような取り組みをしたか」という問いに対して、小学校では①個人懇談、家庭訪問の見直しができた②長期休業前の授業の工夫ができた、中学校では①学校行事や教育活動の見直しできた②個別指導、教育相談の場の設定ができた、という回答でした。

「学校2学期制」は目的ではなく、教育目標を実現するための手段です。

このアンケートの成果と課題をまとめ、今後の学校づくりに反映していきます。

2学期制の主な成果と課題

- | 課題 | 成果 |
|--------------------|---------------------|
| ① ねらいを明確にした行事の見直し。 | ① 児童生徒と関わる時間が持てた。 |
| ② 教職員の意識改革。 | ② 長期休業前の学習時間を活用できた。 |
| ③ 評価情報の工夫。 | ③ 授業時間を確保できた。 |

